

# 藤沢市 令和2年度事務事業評価シート(令和元年度分)

No. 1

事務事業名	湘南大庭地域まちづくり事業費										担当課	部課名	市民自治部湘南大庭市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	12	細目	002	説明	09	課等の長	大岡 誉和	電話	6291

## 1. 事業概要

事業開始年度	平成 23 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域まちづくりのテーマである「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」の実現を目指して、「湘南大庭地区郷土づくり推進会議」において検討した地域住民の健康増進への取組や地区内の環境美化活動のほか、住環境の維持管理並びに改善を進める事業を実施する。						
事業目的および必要性	市民、地域団体等の市民参画により地域の特性を生かした郷土愛あふれるまちづくりを推進するため、「湘南大庭地区郷土づくり推進会議」において、地域の課題を把握・検討し、解決を図ることにより、住みよい湘南大庭地区を実現する。						
対象	1. 個人	市民(湘南大庭地区)					31,673 人
根拠法令等	その他(要綱等) 藤沢市郷土づくり推進会議設置要綱						
事業実施手法 (該当するもの全てにチェック)	■ 直接実施						
	■ 委託・指定管理 (委託先 : 公益財団法人 藤沢市保健医療財団)						
	(委託等内容 : 湘南大庭地区健康なんでも相談事業業務委託)						
	■ 補助金・負担金 (補助金 : 地域のゴミゼロ運動推進事業補助金(生環他2団体合同事業))						
■ その他 (いずれの事業も湘南大庭地区郷土づくり推進会議委員が企画・運営に参加)							
藤沢市市政運営の総合指針2020				その他の計画との関連			
重点施策名				指針体系コード			
コミュニティの活性化による持続的な地域づくりの推進				4-3-131			
関連の深い「市民生活に関する意識調査結果」							
市民意識調査における質問項目				平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民の意識が高く、市民参加型の地域づくりが進んでいること				2.7 点	2.79 点	2.91 点	2.88 点
				点	点	点	点

令和元年度 支出済額	事業費節別内訳		
	費目	支出済額(千円)	主な事業内容
	需用費	28 千円	健康体操普及推進事業消耗品
	委託料	250 千円	湘南大庭地区健康なんでも相談事業業務委託
438 千円	負担金補助及び交付金	160 千円	地域のゴミゼロ運動推進事業補助金
【参考】 令和2年度 予算額	事業費節別内訳		
	費目	予算額(千円)	主な事業内容
	報償費	20 千円	健康増進関連事業講師謝礼
	需用費	23 千円	健康体操普及推進事業消耗品
	委託料	250 千円	湘南大庭地区健康なんでも相談事業業務委託
	負担金補助及び交付金	160 千円	地域のゴミゼロ運動推進事業補助金
453 千円			

## 2. この事務事業に関わる職員数(任用形態別人工数)

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
正規職員等	3.91	3.71	3.81	3.91
再任用短時・任期付短時職員	1.25	1.55	1.30	1.75
非常勤職員	0.00	0.00	0.00	0.00
合計	5.16	5.26	5.11	5.66

※正規職員等＝正規職員＋再任用職員(短時以外)＋任期付職員(短時以外)＋常勤嘱託職員

### 3. 事業実施内容・成果

令和元年度 事業実施 内容	1. 健康なんでも相談事業 地域で進展する高齢化の中で、地域と医療をつなぐための講演会及び相談会の開催、並びに健康づくりに関する講演会等を実施した。 2. 地域のゴミゼロ運動推進事業 地域の美化活動を積極的に行っている団体を支援した。 3. 健康体操普及推進事業 毎週火曜日の朝に、ラジオ体操実技講習会を実施した。							
	成果 目標	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考
				目標値	目標値	目標値	目標値	
		健康なんでも相談事業（年間参加人数）	人	40	40	40	40	
			1,000	1,000	1,000	1,000		
			1	1	1	1		
参考								
活動 実績	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	備考	
			実績値	実績値	実績値	実績値		
	健康づくりイベント開催回数	回	4	2	2	2		
	講演回数	回	1	2	1	1		
			3	4	2	3		
成果 実績	指標名	単位	実績値	実績値	実績値	実績値	備考	
	健康なんでも相談事業（年間参加人数）	人	47	74	95	69		
	ポイ捨て無くし隊活動事業（年間参加人数）	人	1,557	1,921	1,628	1,834		
	健康増進公園改修事業（設置個所）	個所	1	1	1	1		
数値で表せない効果								
郷土づくり推進会議委員が前年度の事業内容を見直しながら、無料健康なんでも相談事業や健康遊具の実技講習会を開催し、地域住民自らが健康増進に取り組むきっかけづくりにつながった。								

### 4. コスト分析

年度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度				
コスト	行政費用(フルコスト) A	45,324	42,042	37,643	43,460				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	43,748	43,649	39,850	43,735				
	事業費(支出済額-②報酬合計)	398	415	413	438				
	償還金利子	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	43,350	43,234	39,437	43,297				
	①職員給与合計(常勤)	41,221	41,573	37,978	41,558				
	②報酬合計(非常勤)	0	0	0	0				
	③退職金相当額	2,129	1,661	1,459	1,739				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	1,576	-1,607	-2,207	-275				
	①減価償却費	0	0	0	0				
	②退職給与引当金繰入額	1,576	-1,607	-2,207	-275				
	③不納欠損額	0	0	0	0				
	④その他( )	0	0	0	0				
	行政収益(事業収入) B	0	0	0	0				
(3)現金を伴う収入 (千円)	0	0	0	0					
①分担金及び負担金 c	0	0	0	0					
②使用料及び手数料 d	0	0	0	0					
③国庫支出金	0	0	0	0					
④県支出金	0	0	0	0					
⑤その他( )	0	0	0	0					
(4)現金を伴わない収入 (千円)	0	0	0	0					
収入未済増減額	0	0	0	0					
収支差額(純費用)A-B E	45,324	42,042	37,643	43,460					
分析指標	項目	健康なんでも相談事業(年間参加人数) F	47	74	95	69			
			単位 人	単位 人	単位 人	単位 人			
	1単位あたりの総費用 A/F (円)	964,340.43	568,135.14	396,242.11	629,855.07				
	市民1人あたりの負担額 E/人口 (円)	106.62	425,105	98.34	427,501	87.68	429,317	100.36	433,060
	受益者負担率 (C+D)/A (%)	0.00	0.00	0.00	0.00				

※1 職員数…(常勤)一般職員, 再任用職員, 任期付職員, 嘱託職員 [非常勤]月額報酬の非常勤職員(一部月額報酬の非常勤職員を含む)

※2 人件費…(常勤)任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出 [非常勤]月額報酬(一部月額報酬を含む)の年度合計額

※3 退職金相当額…年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し, 事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業を進めていくうえでの課題と課題解決の取組

(1) 平成30年度末時点の課題	湘南大庭地区内の住み慣れた家で生活ができるのは非常にメリットがあり、自宅を離れて生活することには抵抗があるとの住民の意見が寄せられている。その反面、地域の課題として介護者が先に倒れてしまうリスクもあるとの指摘もあり、なぜ在宅介護なのかを改めて考え直す必要がある。
(2) (1)解決のための令和元年度の取組	地区における高齢化の進展に伴う在宅介護の関心の高まりを受け、湘南大庭地区郷土づくり推進会議が主催となって、地域住民の参加を募った勉強会を開催し、将来の自分たちの介護がどのようになっていくのかを学ぶ機会を設けるとともに、在宅介護の必要性と健康づくりについて、専門的な講師による講習会と意見交換を実施し、理解を深めた。
(3) 令和元年度末時点の課題	身近な家族等に要介護者がいる場合やご自身の体力的な衰えが迫ってきた段階で在宅介護に対する関心が高くなることから、講習会などの参加者に偏りが生じている。より多くの地域住民の理解の促進を図るためには、限定的な講演会の開催だけでなく、周知方法の工夫や興味を持って参加できる仕掛けが必要である。
(4) (3)解決のための今後の取組	地域住民が医療や介護が必要な状態になっても、できる限り住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、健康づくり事業や地区内の医療関係機関との連携による相談事業の充実を図りながら、身近に感じてもらうテーマや企画内容を考え、様々な媒体による周知啓発に努める。

6. 事務事業の特徴

(1) 事業の性質	① 法的根拠	<input type="radio"/> ア=法令等の根拠はないが、市の裁量により実施するもの(イ～オ以外) イ=市の条例等で規定されている事業 ウ=県の条例等で事業の実施について推奨・規定されているもの エ=国の法律で事業の実施について推奨・規定されているもの オ=法律等により、事業の実施が義務付けられているもの(市に裁量の余地がないもの)	
	② 事業実施の位置づけ(市民へのサービス提供状況)	<input type="radio"/> ア=国、県、他自治体や民間等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの イ=国、県、他自治体等も、市内や近隣市町村で市民が利用できる同種のサービスを提供しているもの ウ=国、県、他自治体等も同種のサービスを提供しているが、一部のサービスは本市のみが提供しているもの エ=本市のみがサービスを提供し、よりよい生活環境の実現、地域の発展、市民生活の向上を目的とするもの オ=本市のみがサービスを提供し、生活基盤の維持・確保、市民の権利維持・安全確保を目的とするもの	
	③ 事業期間	<input type="radio"/> ア=恒久的に実施するもの イ=年限の定めのないもの ウ=時限的に実施する事業で、終了まで5年以上あるもの エ=時限的に実施する事業で、今後2～4年で終了するもの オ=時限的に実施する事業で、本年度で終了するもの	
	(2) 財政的な特徴	④ 事業費…令和元年度支出済額	<input type="radio"/> ア=300,000千円以上 イ=100,000千円以上～300,000千円未満 ウ=30,000千円以上～100,000千円未満 エ=5,000千円以上～30,000千円未満 オ=5,000千円未満
		⑤ 一般財源比率…事業費に占める一般財源の割合	<input type="radio"/> ア=80%以上 イ=50～80%未満 ウ=30～50%未満 エ=10～30%未満 オ=10%未満
		⑥ 固定的経費比率…行政費用(フルコスト)に占める固定的な経費の割合	<input type="radio"/> ア=10%未満 イ=10～30%未満 ウ=30～50%未満 エ=50～80%未満 オ=80%以上
		(3) 事業の種類	(4) その他の事業特性
		2. 市民等サービス(その他)	湘南大庭地区は市内の中で高齢化率が最も高い。

## 7. 事務事業を取り巻く環境の現状と今後の予測

社会情勢等	近年、地域コミュニティにおいては、高齢化や住民間のコミュニケーションの希薄化が社会問題となっている。今後、地域社会の高齢化がさらに上昇するなかで、地域住民の要望の多様化が見込まれており、自助と互助を軸としたまちづくりが期待されている。	
他市等の事例	全国的にも地域課題の解決方法について、試行錯誤の状態である。課題解決に向けて行政の関与は必要だが、地域内の福祉事業者やボランティア、学校、企業等との協働・協力・連携を模索している。	
市民ニーズ	把握方法	地区全体集会、湘南大庭ポータルサイトの活用による意見集約、個別のアンケート調査
	把握内容	まちづくり事業に関わる意見提案・要望や地域課題の抽出など ①将来を見据えたまちづくり ②若年層が活躍できるまちづくり ③有志参加型自治会・町内会への転換 ④自治会・町内会におけるコミュニティの活性化 ⑤健康寿命を延ばすためのラジオ体操の普及
	対応等	地区全体集会及び地区内小学校区ごとの自治会・町内会長意見交換会、電話やFAX・電子メール、対面による聞き取り調査、現地調査、アンケート調査、地域団体との意見交換など

## 8. 事務事業の評価と今後の方針

評価	地区における大きな課題は、住民の高齢化や住宅建築物の老朽化が挙げられる。湘南大庭地区の将来を見据え、コミュニティの活性化と都市基盤の再生について取組が求められている。10年後、20年後の湘南大庭地区のイメージを地区住民と共有し、行政・地域団体・市民や各種団体等の多様な主体の協働により、地域の持続的な発展を図る必要がある。	
今後の方針	まちづくりテーマ	④ 健康で豊かな長寿社会をつくる
	事業の方向性	現状維持
	「住みたい 住み続けたいまち 湘南大庭」を実現するために、高齢化が進んでいる地区の現状と将来を見据えた「まちづくり課題」を掘り起こし、湘南大庭地区郷土づくり推進会議において議論してきた取組等を踏まえながら、令和2年度から委嘱を受けた新委員と一緒に、その解決に向けた検討を重ね、喫緊の課題について実効性のある取組を進める。	

## 9. 事務事業の執行にあたって参照する業務記述書

業務記述書No.	具体的業務の名称	業務見直しの視点等			
		新たな委託（一部含む）の可能性	業務効率改善の可能性	リスク影響度Ⅰ	リスク影響度Ⅱ
1	郷土づくり推進会議委員の選定について	無	無	1	1
2	郷土づくり推進会議会議の開催について	無	無	1	1
6	地域市民の相談及び要望の処理並びにこれらに係る連絡調整	無	無	3	3

※リスク影響度Ⅰ・・・市民等外部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は対象者10%未満, レベル2は10%以上30%未満, レベル3は30%以上。

※リスク影響度Ⅱ・・・組織内部へ影響を及ぼす度合い。リスクレベル1は課内への影響, レベル2は部内への影響, レベル3は他部又は全庁への影響。

## 10. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	藤本 広巳	確認日	2020/8/13
----	-------	----	-------	-----	-----------